

(2009.7.31) 発行国絵図研究会 〒310-8512 水戸市文京 2 丁目 1-1 茨城大学教育学部
小野寺研究室 Tel & fax 029-228-8294

国絵図ニュース 24 号

第 26 回国絵図研究会臼杵大会のお知らせ

例年になくゲリラ豪雨の梅雨の季節がようやく終わりに近付いているようです。皆様お元気でお過ごしのことかと存じます。

さて、今回の研究会は、小野寺 淳会長のお世話と市立臼杵図書館のご協力を持ちまして臼杵大会を開催することになりました。また、小野寺代表の科学研究費基盤研究 (B)「ライデン大学所蔵シーボルト国絵図の地図史研究」のメンバーとの合同調査となります。3 日間の連続となりますので、十分にご体調を整え下さってご参加下さい。

記

日時 9 月 14 日 (月) 14 時 30 分から研究会

(大分方面からの特急は臼杵駅 13:47 着です)

川村 博忠 「市立臼杵図書館の奥羽図について」

岡村 一幸 「市立臼杵図書館の絵図について」

※報告終了後に科研打ち合わせ

18 時～懇親会(費用 4000 円)

9 月 15 日 (火) 絵図閲覧調査 (終日)

9 月 16 日 (水) 絵図閲覧調査 (午前中)

宿泊先：懇親会会場： ホテルニューうすき 臼杵市市浜千代田区 1
電話 0972-64-0777

1 泊朝食付き：6,300 円

宿泊の詳細は、はがきにご記入ください。

**同封のはがきに必要事項をご記入の上、8 月 28 日必着
でお知らせ下さい。**

松平乗命本を模写した京都府立総合資料館蔵正保国絵図

川村 博忠

京都府立総合資料館蔵の一群の国絵図は松平乗命本を転写したものであることは従来から知られていたものの、大方はこれら多量の国絵図は京都府が内閣文庫より借用して模写したものと思われていた。ところが本年1月、シーボルト科研関連の調査で礒永和貴・野積正吉両氏と一緒に当館へ出向いた折、当館の担当者にこれら国絵図の模写のいきさつについて尋ねたところ、以前黒川直則氏（元同館歴史料課）の報告（「京都府立総合資料館蔵国絵図について」文化財報 No.43）のあることを教えられた。

それによると、京都府は松平乗命所蔵の国絵図群が明治政府に献納される前に松平氏より直接借用して、明治5・6年に大勢の絵師を動員して模写したものだという。明治政府は明治6年5月5日の皇城火災にて、それより前に皇国地誌編纂のため集めていた関係資料が灰燼に帰したことから、同年5月8日に太政官布告をもって各府県に「明治五年壬申第二百九十号布告ニ因リ諸省使府県及ヒ華土族等ヨリ追々地誌関係ノ図書類差出候処、今般皇居炎上ニ付、過半消失候間、更ニ採集候条、地誌関係ノ図書類有之分再ニ取調書目早々可差出事」と命じた。この布告に応じて岩村藩知事の松平乗命氏は自己の所有する一群の国絵図を新政府へ献納する意向をもった。そのため京都府は借用中の国絵図の模写を急ぎ、その完了をもって同7年25日付で国絵図群を直接太政官正院に送致したというのである。

ところで黒川氏の紹介する出典の「京都府史」69（別部、図書類）6年7月25日の記によると「本府、旧岩村藩知事松平乗命蔵スル所ノ日本全図地図

ヲ囑借シ、方サニ繕写ニ従事ス、時ニ正院方サニ地誌ヲ編輯セラルヲ以テ令シテ（五年第二百九十号）、ソノ関涉ノ図書ヲ徴ス乗命乃チ所蔵ノ図ヲ上ツラントス、タマタマ本府ノ繕写亦了ルヲ以テ、是月本府ヨリた直チニ原図ヲ正院ニ致シ、是ノ日又ソノ事由ヲ乗命家人岩松慤等ニ致ニ報ス、（正院へ録致ノ件ソノ書ヲ欠ク、今岩松慤等ニ報移スル文ニ拠テ之レヲ推叙ス）」とある。

黒川氏によると、一群の模写国絵図は府立総合資料館が創館されたとき、京都府庁の書庫から古文書等の資料とともに移管された。国絵図は全部で 105 点であるが、うち同一の装丁が施されている 68 点を並べると全国分が揃う。裏面に模写を担当した絵師名の付箋が貼られており、付箋の剥落した 4 図を除き 47 名の絵師名が確認でき、いずれも当時、京都画壇で名の知られた絵師たちであるという。

ところで、これら国絵図の大きさは大小様々であって記載内容の粗密ばかりでなく模写を分担した絵師の好みによって画風も多様である。縮小して模写したものなどもあって幅員だけで判断はできないものの、正規の正保国絵図の写しと想定される一辺 3 メートルを越えるような大型国絵図は約 20 点余である。概観したところ上野・信濃（南半分）・佐渡・伊賀・近江・山城・摂津・河内・因幡・伯耆・出雲（含む隠岐）・石見・播磨・美作・備前・備中・備後・安芸・周防・長門・阿波・讃岐などが該当する。

松平乗命本中のこれら正保国絵図は、享保～延享年間に若年寄から老中を勤めた先代の松平乗賢が若年寄在任中に御文庫の国絵図を複写したものと推定される。大型国絵図以外の小型国絵図の多くは寛永巡見使国絵図の写のようである。

＜本の紹介＞

魏徳文・高傳棋・林春吟・黄清琦

『測量臺灣 日治時期繪製臺灣相關地圖 1895－1945』

2008 年國立臺灣歷史博物館・南天書局有限公社

1200 元(約 3, 500 円)

本書は、國立臺灣歷史博物館蔵の 1895 - 1945 年のいわゆる日本の植民地時代に発刊された地図集である。この地図集は國立臺灣歷史博物館蔵の第 2 集で、第 1 集は 2006 年に刊行された『徑緯福爾摩紗—16 - 19 世紀西方繪製臺灣相關地圖』（筆者未見）である。内容は、本書で扱う地図の概要に始まり、Ⅰ 普通地図では地形図と普通地形図扱い、Ⅱ 主題地図では、海図・水文図・地質図・土壌図・産業図・族群図・地籍図・交通旅遊図・行政図・市街図・都市計画図・軍事図・鳥瞰図・其他図を掲載している。また、國立臺灣歷史博物館蔵の目録も付されている。植民地時代の台湾を地図によって概観できるとともに、台湾地図研究の入門書として有益である。

本年度の会費を徴収します。

国絵図研究会は、皆様の会費で運営しております。ご協力ください。

一般 2, 0 0 0 円 学生・院生 1, 0 0 0 円です

※ 次回の研究会に参加された方は、磯永にお渡し下さい。

■すでに夏バテです。みなさんはいかがですか。●9 月の白杵は、少し涼しくなっていることを期待しています。▼研究室の外では、蟬の声がうるさく、響いています

ニュース編集担当・・磯永和貴 〒751-0807 下関市一の宮学園町 2-1 東亜大学人間科学部内 電話 0832-51-5177 E-mail : isonaga@toua - u.ac.jp
--